

(別紙 1)

日本史 (2月4日実施)

1. 対象の学部

人文学部 (日本語日本文学科, 英語学科), 経済学部 (産業経済学科),
商学部 (商学科)

2. 入試方法区分、試験科目

平成 31 年度一般入試前期日程 日本史 (2月4日実施)

3. ミスの内容

問題文に誤植があり、正答が存在しない設問となった。

設問 b 法のもとの平等, 思想・言論・集会・結社の自由などを定めた最も民主

的な私擬憲法 [東洋]大日本国国権按 [日本国国権按] を起草した人物と

され, 『民権自由論』などの啓蒙書を刊行した人物は誰か。

「国憲按」であるところが、「国権按」となっている。

4. 対応

当該問題については全員正解として扱う。

5. 追加合格の有無

無し

(別紙 2)

世界史 (2月5日実施)

1. 対象の学部

人文学部 (文化学科, 東アジア地域言語学科), 法学部 (経営法学科)
商学部 (貿易学科)

2. 入試方法区分、試験科目

平成 31 年度一般入試前期日程 世界史 (2月5日実施)

3. ミスの内容

問題文に誤植があり、正答が存在しない設問となった。

1095 年にクレルモン宗教会議を招集して、聖地であるイエルサレムを回復する聖戦をおこすことを提唱した。1096 年に教皇の招集に⁽ⁱⁱ⁾応じた各国の諸侯や騎士からなる第 1 回十字軍が出発し、イエルサレム王国を建国した。

だが、1188 年に、アイユーブ朝の(ウ)が、イエルサレムをイスラーム教徒の手に取り戻した。これに対して結成された第 3 回十字軍は、神聖ローマ皇帝フリードリヒ 1 世、フランス王フィリップ 2 世、イングランド王リチャード 1 世と^(c)いったカトリック世界の主要な君主たちが参加したにもかかわらず失敗した。

4. 対応

当該問題については全員正解として扱う。

5. 追加合格の有無

無し

(別紙 3)

化学 (2月5日実施)

1. 対象の学部

工学部 (電子情報工学科, 社会デザイン工学科)

薬学部

2. 入試方法区分、試験科目

平成 31 年度一般入試前期日程 化学 (2月5日実施)

3. ミスの内容

問題文に説明不足があり、正答が存在しない設問となった。

純水および非電解質の実験結果から得られた冷却曲線を、それぞれ図 2 および図 3 に実線で示す。破線 bd と gi は、それぞれ直線 de と ij の延長線である。

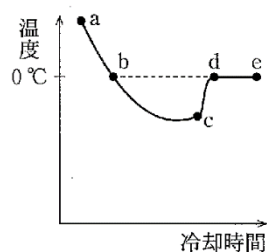


図 2 純水の冷却曲線

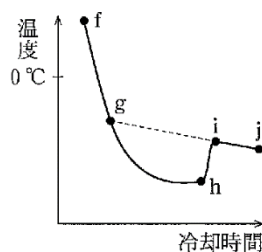


図 3 非電解質水溶液の冷却曲線

(え) 図 3 で、凝固点のはどの点か。 「凝固点を示すのはどの点か。」とあるべきところが 「凝固点のはどの点か。」となっている。

4. 対応

当該問題については全員正解として扱う。

5. 追加合格の有無

無し

(別紙 4)

世界史 (2月6日実施)

1. 対象の学部

人文学部 (教育・臨床心理学科, ドイツ語学科), 法学部 (法律学科),
商学部第二部

2. 入試方法区分、試験科目

平成 31 年度一般入試前期日程 世界史 (2月6日実施)

3. ミスの内容

問題文に誤植があり、正答が存在しない設問となった。

問 2 文中の——線部(a)~(f)について、次の問に答えよ。解答はすべて別紙の解答欄に書き入れよ。ただし、通常、漢字で記される語句は正しい漢字で書け。

(c) この地域で1939年に施行された朝鮮人に日本名を名乗らせる政策は何か。

「施行された」であるところが、
「1939年に施行された」となっている。

4. 対応

当該問題については全員正解として扱う。

5. 追加合格の有無

無し

(別紙 5)

数学 (2月 11 日実施)

1. 対象の学部

理学部 (社会数理・情報インスティテュート),
薬学部

2. 入試方法区分、試験科目

平成 31 年度一般入試前期日程 数学 (2月 11 日実施)

3. ミスの内容

問題文に誤植があり、正答が存在しない設問となった。

[III] (記述問題)

3次関数 $f(x) = ax^3 + bx^2 + cx + d$ が $x = \frac{2}{3}$, $x = \frac{4}{3}$ でそれぞれ極値をとる。このとき、次の問いに答えよ。

(i) 方程式 $f(x) - f(\frac{4}{3}) = 0$ の解を求めよ。

(ii) 曲線 $y = f(x)$ を x 軸方向に -1 , y 軸方向に -1 だけ平行移動させた曲線 $y = g(x)$ が $g(-x) = g(x)$ をみたし、さらに点 $(0, 0)$ における接線が $y = 9x$ であるとき、関数 $f(x)$ の極大値, 極小値を求めよ。 「 $-g(x)$ 」とあるべきところが「 $g(x)$ 」となっている。

4. 対応

当該問題については全員正解として扱う。

5. 追加合格の有無

無し